

# GUITAR

# CONCERT

at ロッコーマンホール 2014. 11. 1

開演 19:00 (開場 18:30)

## 第I部 - Guitar Trio / 藤井敬吾、岩崎慎一、永田参男

スペイン	.....	スペイン ジョズギタリスト、先任アラニスで知られる C. コリア(1941) - 藤井敬吾 編
嬉遊曲集 III	.....	モーツァルト G. モントルイユ(1927 - 1991) I. バラライカ、 II. グリーンスリーブス、 III. 愉快的な牧場、 IV. 秋の夕暮れ V. タンゴ アルゼンチン、 VI. 神の御子は今宵しも、 VII. 霧雨
トリオ ニ長調 Op. 12	.....	イ F. グラニャーニ(1767 - 1812) I. アレグロ、 II. 変奏、 III. メヌエット この曲はオビニル カトリックらしい。

【休憩 - 15分程度】

## 第II部 - マヌエル・バビローニ / Manuel Babiloni

使用ギター：J. ラミレス アウディトリオモ

ディプソ (神秘の組曲より)	.....	V. アセンシオ(1903 - 1979)
幻想曲 Op. 21 「別れ」	.....	F. ソル(1778 - 1839)
スペイン舞曲 第2番 「オリエンタル」	.....	E. グラナドス(1867 - 1916)
<del>ゴヤのママ (トナディオ・ジャ)</del> ← アニマル		
内なる想い	.....	V. アセンシオ(1903 - 1979) I. 心静かに、 II. うれしさ、 III. 静寂、 IV. 歓喜、 V. あせり
ソナタ“さくら”	.....	藤井 敬吾(1956) - M. バビローニに献呈 I. モデラート、 II. レント、 III. アレグロ



..... マヌエル・バビローニ / Manuel Babiloni

バビローニは「音の詩人」である。彼の音楽は情熱とポエムで満ち溢れている。荘厳で感受性豊かな音で歌い上げる演奏家として輝きを放っている。スタッカート（ドイツ）

バビローニは父から音楽の手ほどきを受ける。後にギターを巨匠J. L. ゴンサレスに師事、演奏法を作曲家のM. サルバドール女史に学ぶ。83年、第18回タレガ国際ギターコンクール（スペイン）タレガ賞受賞。86年、サンティアゴ・デ・コンポステーラで開催された第24回スペイン音楽国際講習会では、威信ある2つの賞、モラレス賞、ラミレス賞を受賞。81年より演奏家としてスペイン国内、ヨーロッパ各国、南米、日本で定期的に演奏、各地で聴衆を評論家から高い評価を得ている。その情熱的で感受性豊かな演奏は、現代の作曲家に感銘を与え、バビローニのために数多くの作品が生まれ、初演、録音されている。バビローニをスペイン国内では「この国において最も人気のあるクラシック・ギタリストのうちの一人である。」と音楽誌アマデウス（バルセロナ）は位置づけている。また国外でも「最も洗練されたクオリティの高いギタリスト。」とザ・

アイリッシュ・タイムズ誌（ダブリン）は評している。現在までに3枚のCD「スペイン音楽集」、「ソナチネ」、「F. ソル 2つの幻想曲と12の練習曲」を発表、いずれもスペイン国内はもとより、世界各国で好評を博している。日本へは1997年の初来日以来、7回訪れ、演奏とマスタークラスを通じてスペインギターの普及に貢献している。

【CDレビューより】このCDは、間違いなく、私が今まで聴いたタレガの録音ではベストのものである。ジャン・デ・クローエ「クラシカル・ギター誌」（イギリス）

バビローニのソルに対する演奏法は確固たる表現力の豊かさや卓越した完成度に達している。音楽的な局面のすべてにわたり細心の注意が払われ、すべての技術的難所は楽器の名手が持つ真の熟練されたテクニックで乗り越えられている。このCDは現在手に入るソルの録音では最も素晴らしいものである。発売されたばかりであり、最も重要なことは、クラシックギターの生徒たちやソルのファンには必携の1枚であることだ。「Classical CD Reviews」（オーストラリア）



..... 藤井 敬吾 / Keigo Fujii

1956年、北海道上磯町に生まれる。7才よりギターを始め、独学で和声学や対位法を学びつつ、作曲を始める。15歳から数年間にわたり一日一曲を日記代わりに作曲する。イギリスのギルド・ホール音楽院に学びL.G.S.M.演奏家ディプロマを取得。その後スペインに渡りオスカル・エスブラ音楽院に学び、1985年ラミレス・コンクールとオレンセ国際コンクールにて連続して第1位となる他、マリア・カナルス国際コンクールやジュリアーニ国際コンクールで第3位に入賞している。ギターを岡本一郎、J.L.ゴンザレス、D.ラッセルの各氏に師事。イギリス、スペイン、スウェーデン、ドイツ、アメリカ、中国など世界各国で演奏しているが、独奏の他、ピアニストである夫人の藤井由美との二重奏や室内楽、そしてオーケストラとの協演など幅広く活躍している。1995年、青山音楽財団より「青山音楽賞」を授与される。2001年にはタレガ国際コンクールの審査員として招待されている。

大阪音楽大学と京都市立堀川音楽高校で講師を務めている。



..... 岩崎 慎一 / Shin-ichi Iwasaki

大阪生まれ。ギターを松山豊樹、木村英明、藤井敬吾の各氏に師事。1993年スペインへ渡り、巨匠故ホセ・ルイス・ゴンサレス氏に師事。また、井上幸治、フェルナンド・ロドリゲスの両氏にも学ぶ。A・ディアス、D.ラッセル、M.バビローニ、R.ディアス、R.アウセル、その他多数のマスタークラスを受講。1997年、バレンシア交響楽団のヴィオラ奏者でルーマニア出身のトリアン・イオネスク氏と共に「デュオ・アルペジオーネ」を結成。スペイン各地においてコンサート活動を行い好評を得る。その他、2001年9月に帰国するまでの間、ソロ、及びアンサンブルにおいて多数のコンサートや録音等を行う。第23回ギター新人賞選考演奏会（現クラシカルギターコンクール）（東京）優勝。ホセ・ルイス・ゴンサレス国際ギターコンクール（アルコイ）優勝。その他、第43回マリア・カナルス国際ギターコンクール（バルセロナ）、アンドレス・セゴビア国際ギターコンクール（リナーレス）等のコンクールに入賞。現在関西を拠点にコンサート、教授活動を行っている。大阪市在住。



..... 永田 参男 / Mitsuo Nagata

大阪府出身。17歳の時に藤井敬吾氏に出会い、ギターを始める。大阪音楽大学短期大学部音楽専攻科、ロンドン市立ギルドホール音楽院にてギターを学ぶ。ギターを藤井敬吾、ロバート・ブライツモアの両氏に師事。またフラメンコギターを伊集院貞敏氏に師事。高槻ギタークラブ、岸和田のギタークラブ「ラグリマ」ではギター合奏の指導を行うほか、吹田市、高槻市、尼崎市、宝塚市にて後進の指導にも力を注いでいる。京都ギターセミナー事務局。